

令和4年度 学校評価 集計の結果と来年度への取り組み

たむら支援学校

今年度の学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、以下の通りご報告いたします。

今回の結果を受け課題となる項目については、担当部署を中心に学校全体で改善に向けて具体的な方策を検討し、次年度の計画と実践に活かしてまいります。

【評価基準】	【回答者数】		
A とてもよくできている、とてもよくあてはまる	(小学部)保護者 41人	教員 24人	
B よくできている、よくあてはまる	(中学部)保護者 22人	教員 14人	
C あまりできていない、あまりあてはまらない	(高等部)保護者 37人	教員 19人	
D できていない、あてはまらない	《保護者 100人》《教員57人》《合計 157人》		

【質問1】 学校は、一人一人の子どもの「伝える力」を「ひきだす」「のばす」「ひろげる」そして「たしかめる」ための授業づくりを行っていると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	61	35	3	0	1
評価割合	61%	35%	3%	0%	1%
教員	31	26	0	0	0
評価割合	54%	46%	0%	0%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 96%の保護者及び100%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。一方、保護者の3%が「C」評価としており、「もう少し授業の様子を見たい。」という意見も寄せられました。
 - ・ 今後も、児童生徒一人一人の「伝える力」の育成に向けた授業づくりを行うとともに、授業参観や学校へ行こう週間を通して、一人一人の実態に応じた言語環境や手立ての工夫等をお伝えしていきます。
- また、学校では、いつでも授業やお子様の様子を見ていただくための来校を受け入れておりますが、現在は、感染症予防対策のため制限しておりますことをご理解ください。

【質問2】 学校は、個別の指導計画をもとにした各教科等の授業づくりを行い、児童生徒は意欲的に学習に取り組むことができていると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	61	35	2	0	2
評価割合	61%	35%	2%	0%	2%
教員	27	30	0	0	0
評価割合	47%	53%	0%	0%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 96%の保護者及び100%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。一方、保護者の2%が「C」評価、2%が「分からない」としてあります。さらに、児童生徒一人一人が各教科等の学習に意欲的に取り組むことができる授業づくりに努めてまいります。

- ・ 今後も、個別の指導計画について保護者と共通理解を図るとともに、児童生徒の実態に応じた指導・支援を行うための指導体制や学習環境の整備を行い、児童生徒一人一人が各教科等の学びを確実に積み上げ、興味や意欲をもって学習に取り組むことができるように授業の改善に努めます。

【質問3】 学校は、施設・設備等の点検を徹底するとともに、危険や災害から身を守る防災教育を行っていると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	57	38	3	0	2
評価割合	57%	38%	3%	0%	2%
教員	30	26	1	0	0
評価割合	53%	45%	2%	0%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 保護者及び教員の95%以上が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。一方、保護者の3%が「C」評価、2%が「分からない」としており、さらに、防犯及び防災対策が求められていると考えます。
- ・ 学校では、機械警備による防犯・防災設備の整備を行うとともに、避難訓練や職員による不審者対応訓練などを実施し、万が一に備えた対策を行っています。今後も引き続き、施設・設備の点検を徹底していくとともに、児童生徒が危険や災害から身を守るための具体的な防災教育を継続して行い、取り組みについてホームページ等でお伝えしていきます。

【質問4】 学校は、研修をととして職員同士が学び合い、授業の改善に努めていると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	60	36	2	0	2
評価割合	60%	36%	2%	0%	2%
教員	31	26	0	0	0
評価割合	54%	46%	0%	0%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 96%の保護者及び100%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。一方、保護者の2%が「C」評価、2%が「分からない」としています。今年度、研修内容について、随時、ホームページで発信してきましたが、さらに具体的な情報発信に努めてまいります。
- ・ 今後も、実践研究や事例検討、外部講師を招聘しての研修会等を通して授業の改善に努め、取り組みについてホームページや通信、懇談等の様々な機会を通してお伝えしていきます。

【質問5】 学校は、通学指導や交通安全教室などを実施し、児童生徒が安心・安全に生活するための指導や環境整備を行っていると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	69	29	1	0	1
評価割合	69%	29%	1%	0%	1%
教員	32	24	1	0	0
評価割合	56%	42%	2%	0%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 保護者及び教員の98%以上が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。保護者の1%が「C」及び「分からない」としており、さらに取り組みについての情報発信に努めてまいります。
- ・ 今後も、児童生徒一人一人が安心・安全に生活するため、実態に応じた具体的な安全指導や環境整備を行います。また、通学指導や交通安全教室等の取り組みの様子について、ホームページや通信等でお伝えしていきます。

【質問6】 学校は、児童生徒が運動に親しみ、健康や生活習慣に関心をもてるような指導を行っていると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	68	31	0	0	1
評価割合	68%	31%	0%	0%	1%
教員	30	27	0	0	0
評価割合	53%	47%	0%	0%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 99%の保護者及び100%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。今年度も保護者のご理解のもと、全職員が一丸となって感染症予防対策、健康及び生活習慣に関する取り組みを行ってきたことが結果に反映されたと考えます。
- ・ 今後も児童生徒が安心して学習できるよう感染症予防対策を徹底するとともに、児童生徒一人一人の健康とよりよい生活習慣の定着のために、日々の運動量と保健衛生についての指導を継続して行い、取り組みの様子についてホームページや通信等でお伝えしていきます。

【質問7】 学校は、体験的な学習（例：校外学習、産業現場等における実習）をとおして、将来の社会生活に必要な力の育成を行っていると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	66	31	2	0	1
評価割合	66%	31%	2%	0%	1%
教員	28	28	1	0	0
評価割合	49%	49%	2%	0%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 保護者及び教員の97%以上が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。一方、保護者の2%が「C」評価、1%が「分からない」としており、日々の学習活動が将来の社会生活に必要な力の育成につながっていることを丁寧に確認しながら進めていくことが必要であると考えます。
- ・ 今後も、日々の学習活動が将来の社会生活に必要な力の育成につながっていることについて共通理解を図りながら、各学部段階でのキャリア教育の充実に努めます。

【質問8】 学校は、校内の児童生徒や地域の幼児児童生徒・学校等のニーズに応じて、相談や支援を行っていると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	55	41	3	0	1
評価割合	55%	41%	3%	0%	1%
教員	35	22	0	0	0
評価割合	61%	39%	0%	0%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 96%の保護者及び100%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。一方、保護者の3%が「C」評価、1%が「分からない」としており、児童生徒数の増加に伴い個々の支援の難しさを感じるという意見も寄せられました。
- ・ 今後も、個別懇談や教育相談を通して本人及び保護者のニーズを聞き取り、支援の手立てや支援体制について共通理解を図りながら児童生徒一人一人の支援の充実に努めるとともに、ホームページや通信等を通じて、取り組みの様子をお伝えしていきます。

【質問9】 学校は、保護者と協働・協調したPTA活動を支援し、保護者と教職員が協力して活発なPTA活動が行われていると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	57	38	4	0	1
評価割合	57%	38%	4%	0%	1%
教員	30	27	0	0	0
評価割合	53%	47%	0%	0%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 95%の保護者及び100%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。一方、保護者の4%が「C」評価、1%が「分からない」としており、感染症予防対策のために、これまで同様の活動ができにくかったり、制限のある活動が続いたりしたことが一因であると考えます。
- ・ 今後も、地域の方々との交流や地域資源の活用を図る活動を工夫して行ったり、オンライン等の新しい生活様式や発想を取り入れたりするとともに、感染症予防対策を徹底した上で、少しずつ活動の幅を広げていけるように、保護者と教員が協力してPTA活動を行っていきます。

【質問10】 学校は、児童生徒の実態に応じて、ICT機器等を活用した授業づくりを行っていると思いますか。

【回答】

評価基準	A	B	C	D	分からない
保護者	46	42	5	0	7
評価割合	46%	42%	5%	0%	7%
教員	20	37	0	0	0
評価割合	41%	55%	0%	0%	0%

【結果及び今後の取り組み】

- ・ 88%の保護者及び100%の教員が「A」または「B」評価で、概ね良好な評価となりました。一方、保護者の5%が「C」評価、7%が「分からない」としています。ICT機器を活用した授業について、タブレットの活用に限らず、児童生徒の実態に応じた視覚支援のための教材の活用等、取り組みについての情報発信が十分でなかったと考えます。
- ・ 今後も、各教科等の学習活動において取り組んでいるICT機器を活用した授業づくりについて、授業参観や懇談、ホームページや通信を通してお伝えしていきます。